

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ()	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校の学校教育目標は、「ともに未来を築く、心豊かで、かしこくたくましい子どもの育成」である。

大牟田市の南部の有明海に近い場所に位置している本校は、特色ある教育活動として「海洋教育」を推進している。総合的な学習の時間を軸として、①海洋教育「海に親しむ」「海を知る」に関する学習、②海洋教育「海を守る」に関する学習、③海洋教育「海を活用する」に関する学習をテーマに据え、各学年の児童の発達段階に応じて系統的に学習を進めている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を活用する」学習

3年生は、単元「有明海 見つけたよ海の生き物」にて、主に「海に親しむ」「海を知る」学習を行った。有明海の打越海岸を訪れ、GTのおおむたネイチャーガイドの方の案内で干潟を訪れ、生き物観察会を行った。実際に有明海の干潟で生き物を見つけ、児童は生き物の多様性やその保護について学んだ。資料で見たカニや小魚を実際につかまえると興味をもち、海の豊かさを実感していた。その学びを、「海まつり」を開き、2年生の児童に発信した。下の学年の児童が、どうしたら楽しみながら海のことについて知ることができるのか考え、紙芝居やクイズ、ゲームなどの形で伝える工夫を行った。



4年生は、単元「海や環境のために私たちができること」にて、主に「海を守る」学習を行った。駿馬地区公民館やボランティアの方々の協力の下、カヌー教室を行い、諏訪川の様子を実際に目にし、環境や生き物の保護について考えた。カヌー教室では、水面が間近であるため、川の汚れなど観察することができた。社会科の「くらしとごみ」の学習を横断的に学習していたため、環境と自分達のくらしを関連付けて考えることができた。新聞やポスターに学んだことをまとめ、校内に掲示した。

5年生は、単元「三池港の魅力を探ろう」にて、主に「海を利用する」学習を行った。大牟田市役所産業経済部三池港・みなと振興室の方に GT として来て頂き、三池港の歴史や機能について話をしてもらい、その価値について学ぶことができた。大牟田の産業に欠かせない貴重な港であることを学び、新聞にまとめ、下学年に発信した。

○ 防災・減災教育

6年生は、単元「守ろう自分の命・助け合おうみんなの命」にて、主に「防災・減災」学習を行った。これまでの学びをさらに発展させ、令和2年の大牟田豪雨の際、有明海の満潮と重なり被災したときの経験を教訓に、いかに自分たちの身を災害から守るかについて学習した。

大牟田市役所災害対策室の方に GT として来校して頂き、災害が起きた際の行動の仕方や防災グッズ作り等について学習した。1月末に大牟田市文化会館で行われた「ユネスコスクール・ESD 子ども



もサミット」に出演し、取組を発表した。2月に行われる令和6年度「天領小学校学習発表会」の際に、全学年の取組をまとめた掲示物を会場内に掲示し、保護者や地域の方々に紹介していく。

3 今後の活動計画

令和7年度は、ESD においてさらに、海洋教育を柱とした体験活動や探究活動に取り組んでいく。そのために、

1. これまでの取組を見直し、より子ども達の意識が「海との共生」に向かっていくようカリキュラムを改善しながら学習に取り組ませる。
2. 発信の際、相手意識を明確に持たせ、様々な方法でより多くの人に伝えさせていく。
3. 教師が学習計画や子ども達に身に付けさせる資質や能力を明確にもち、学年で協働して学習を進めていく。